

2023年度施設関係者評価委員会

2024年1月15日

司会 園長 加藤拓未

- 10:00 委員会開始
- 園長挨拶
- 委員紹介
- 本日の流れの説明（園長）
- 園内見学
- 10:40 幼稚園概要説明（副園長）
- 評価シート説明（副園長）
- 意見交換
- 12:00 お祈り（理事長）
- 閉会

「幼稚園施設関係者評価委員会」委員（敬称略）

- 竹田孝一（羽村ルーテル学園 理事長）
- 加藤拓未（園長）
- 高井あゆみ（副園長）
- 阿部富美子（羽村ルーテル学園 理事）欠席
- 竹内明美（大森ルーテル幼稚園 副園長）
- 歌川静香（ルーテル羽村幼稚園 保護者）
- 小林枝里子（ルーテル羽村幼稚園 保護者）

令和6年1月15日

① 本園の教育目標

・キリスト教保育

- (1) 子どもが、自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じ取り、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようにする。
- (2) 子どもが、お互いの違いを認めつつ、一緒過ごす努力をし、そのことを喜びとするようにする。
- (3) 子どもが、心を動かし、探求し、判断し、創造力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようにする。
- (4) 子どもが、私たちの生きる自然や世界を神様による恵みとして受けとめ、それらの事柄に関心を持ち、自分達のできることを考え、行うようにする。
- (5) 子どもがイエスを身近に感じ取ることを通して、見えない神様の恵みと導きを感じ、「イエスさまと共に」毎日を歩もうとする思いを持つようにする。

- ・一人一人を大切にする教育
- ・創造性と自己表現力を育てる教育
- ・体づくりに取り組む保育

②本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・一人一人の幼児を大切にした質の高い教育の実践を目指す。
- ・チーム保育などにおける教育間の協力的な指導をはかる。
- ・教育の質向上のための園内研修を充実させる。

③評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取 り 組 み 状 況
1	保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間カリキュラムを立て、年間の見通しをたてた。 ・月案を立て、1カ月の保育・行事に向けての準備の計画を立てた。

			<ul style="list-style-type: none"> ・週案を毎週金曜日の職員会議で発表し、それぞれの保育の見通しを幼稚園全体で共有し、連携を図った。 ・区画整理のため園の周りの環境が変わり、行事に向けての練習等、変更せざる負えない事柄が多々出てき、今年度も職員全員で話し合い、新しい取り組み方を考えてきたが、通常保育の中での活動・遊びを考えると、更に保育のやり方や計画を考えていく必要がある。 ・職員間の横の連携が取れていた為、それが良い保育につながったと思う。
2	子どもの育ちの評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方々へ、月末にそれぞれのお子さんの様子を伝えるコメントを書いたり、クラスだよりで園でのクラスの様子・活動を伝えることで、保育者自身が子供の成長する姿を思い返すことができた。 ・今年度は職員の働き方が変わり、決められた時間内での勤務となったが、その中で保育者同士の日々の雑談の中で子供たちの姿を共有することができ、他のクラスの子供たちの姿にも気付く事ができた。そのことによって、園全体の子に対して意識して接することができた。このような時間は今後も大切にしていきたい。 ・子供たちの頑張りや成長を誉めてあげようという気持ちが基本となる保育が行われ、その保育者の姿勢が子供の成長に繋がっていくと感じた。 ・行事を通して、保護者に子どもの姿をみてもらう事ができて良かった。お便り帳などの文章では伝えられない子供の姿

			<p>や先生たちのことを見てもらえてよかった。特に、今年度は運動会を全学年で行なったり、感謝祭などの行事を行うことが出来たため、子どもたちの育つ姿を保護者の方々に見てもらい職員と共有することが出来た。また、運動会を全学年で行ったことで、他学年の取り組みを見ることが出来、子どもたちにとってもよい刺激となった。</p>
3	保育のあり方 をとおして	A	<ul style="list-style-type: none"> ・満三歳児から年長組まで、他学年との交流を持つ姿がみられた。 ・職員間の子供たちに関する情報交換により、学年に関係なく一人一人の子供の事を全員の職員が共有でき、預かり保育等で担任がいない場合にも一人一人に適切な声掛け・接し方が出来た。 ・職員のお互いの協力により、手厚い保育が出来た。 ・保育の中で子供たちの活動に時間差が生まれた際、他の学年の先生がフォローすることで遊びの時間の確保ができた。 ・礼拝のお楽しみの時間に各先生が行う手遊びやし物を通して、保育の広がりを感じることができた。 ・自由に遊ぶ時間と集団での活動時間のバランスを意識的にとって保育を行うことができた。
4	保育者の努力	A	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの職員が、全園児が集まる機会に子供たちが楽しめるような出し物やダンス等を積極的に新たに取り入れ保育の幅を広げた。 ・クラスで起こる問題を全員の職員で考え解決していけるよう進めた。 <p>コロナ禍の中出来なかった行事を新たにや</p>

			<p>り方を考え直し、職員の努力・連携のもとに良い行事を行うことが出来た。</p>
5	保護者とのつながり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだより・お便り帳・月末に園児の様子を伝えるコメント・ネットのルーテル日記等を通して保護者とつながることができた。 ・個人面談を2回行うことで、おうちの方と情報交換をすることが出来た。 ・お誕生会のやり方をコロナの影響で変えてからそのやり方が定着したが、今後も保護者の方々と共に子供の成長を感じることが出来るお誕生会にしたい。 ・今年度は昨年以上に行事を通して実際に子どもたちの姿を見ることができ、その中から子供たちの成長を保護者と共に感じることができた1年だった。また、保護者が行事のために幼稚園に足を運ぶ機会が増え、その分保護者との関わりも増えた。 ・絵画指導の先生の講演会を通して、絵に関する質問等を直接聞くことが出来良い時間となった。
6	地域の自然・社会との関わり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職場体験を受け入れた。 ・未就園児の集まりを今年度は回数を増やし、内容も充実させて行うことが出来た。はじめての方に幼稚園の事を見て頂く事ができた。 ・お芋ほりで地域の畑のかたの熱心なお話を聞き、自然と触れ合うことができた。 ・交通安全教室・小学校の訪問等が子どもたちにとって良い刺激となった。 ・就学に向けて、直接小学校の先生と話し合いを持つ会議があり、今後も小学校との連携のために良いと思った。

7	研修への取り組み	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで職員全員が学ぶ時間を持てた。学ぶことで、保育のモチベーションにもつながった。来年度に向けてまた受講していくきっかけをつかめた年だった。 ・今年度も聖書研究の時間とり、聖書の学びの時をもった。さらに充実した時間となるよう、引き続き行いたい。 ・WEBでの研修がふえたので良かった。一つの研修を全員で学べる機会があっても良い。
---	----------	---	--

評価 (A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

④総合的な評価結果

評価	理由
A	お泊り保育・感謝祭等、コロナ以前の行事をやり方を検討しながら復活させた。子どもたちの経験が豊かになり、また保護者の参加や参観の機会が増えたことで、子どもたちの成長を保育者・保護者で共有できた良い年となった。

⑤今後取り組む課題

幼稚園隣の公園がなくなってから、子どもたちの体を十分に動かす活動や遊びが減っているように感じる。計画を立て、広い場所で体を十分に動かす活動や遊びを積極的に保育の中に取り入れ、子どもたちの体づくりにも力をいれていきたい。

施設関係者評価委員会の評価

- ・朝の礼拝の様子から、年齢を重ねるごとに話を聞く姿勢が育っていることを感じた。
- ・昨年度まで中止となっていた感謝祭の行事など、保護者が参加できる行事が再開され良かった。
- ・年少組の保育参観の様子から、職員が必要な子に数名ついている事に、手厚い保育が行われていることを感じた。
- ・園内で異年齢同士のこどもが関わっていることがとても良いと感じた。
- ・担任以外の職員からも、子どもの様子を聞くことが出来るのが、ルーテルならではの温かさを感じる。
- ・今後の区画整理のことで気持ちがごたごたしていても、安心して園に子どもを預けられる。
- ・園側の課題として、体を動かす活動を計画的に行うとあったが、大型のおもちゃなどをホールで使うことも良いのではないか。
- ・職員の横の繋がり（チーム力）が大切であるが、それが出来ているのは素晴らしい。一人の職員が見ていると、心の部分を見落としてしまうこともあるが、それをチームでみることで補うことが出来る。
- ・年少組の5月の母の日のお母さんの絵が、まだ母の顔になっていなかった。⇒年少組ならではの、年少組の成長にあった表現だ。

<講師による活動について（絵画・英会話・体操・リトミック）>

- ・リトミックは満三歳クラスだけで他はないのか。
⇒他学年は各担任が行っている。
- ・小学校でも英語が始まったので、幼稚園でも行っているのはありがたい。
- ・英会話では、同じことを繰り返し楽しくすることで、英語を学べるような指導が行われている。
- ・体操の時間はとても楽しんでいる。体操の参観でドッジボールを行ったが、ルールをきちんと指導している様子がわかった。
- ・絵画では、絵画の先生に褒められたことが子どもは嬉しかったようだ。
- ・講師の指導による活動をもう少し増やしても良いとも思うが、そうすると担任の先生が行っている日頃の活動が出来なくなってしまうので、それも問題になる。